

## 平成 26 年度野崎西小学校 全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について

平成 26 年 10 月 7 日

### はじめに

学校教育は「人格の完成」を目的とするものです。人格の完成のためには「生きる力」言いかえれば、[確かな学力]、[豊かな人間性]、「健康と体力」を育てていかなければなりません。【確かな学力】とは「知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力」まで含めたものです。

8 月末に平成 26 年度全国学力・学習状況調査の結果が公表され、和歌山県が全国的にもたいへん低く、「和歌山の子どもたちの学力は大丈夫だろうか」とご心配をおかけしていると思います。私たち野崎西小学校の職員はこの結果を真摯に受け止め、学力向上について何度も会議で話し合い、本校の学力テストや児童質問紙からどこに課題があり、今後どのような取組が必要であるのかについて話し合いました。

学力向上のために野崎西小学校の課題とそれに向けての具体的な取組を職員全体で考えましたので、保護者の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

### 調査内容

実施日 平成 26 年 4 月 22 日（火） 対象 第 6 学年 2 学級 65 人

全国学力・学習状況調査は、国語・算数ともに「知識」に関する問題を主とした A 問題と「活用」に関する問題を主とした B 問題の 2 つがあります。A 問題、B 問題ともに国語は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の 3 領域と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の 1 事項に、算数は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の 4 領域に分かれています。

また、同時に児童質問調査もあり、この中では児童の学校や家庭における学習状況や生活の様子が分かります。

### 調査結果の分析より

#### 1 国語科 A（基礎）の傾向

##### 比較的すぐれている学習内容

- ① 漢字の読み書きについては漢字の博士試験に参加をし、漢字を覚える機会が多かったためだと考えられる。

##### 課題があると思える学習内容

- ① 「五十歩百歩」や「耳をかたむける」などのことわざや慣用句など言葉の意味が分からない児童があり、そのことで文章の内容が読み取れない児童が多い傾向にある。
- ② 文章の要点をまとめることが苦手な児童が多い傾向にある。

#### 2 国語科 B（応用）の傾向

##### 比較的すぐれている学習内容

- ① 文章に書かれている内容をおおまかにとらえることができる傾向にある。
- ② 国語 A に比べると比較的正答率が高く、県平均を上回っていた。

### 課題があると思える学習内容

- ① 例えば 100 字以内でまとめる。文章から引用するなど複数の条件を示されて自分の考えを書くことが苦手な傾向にある。
- ② 文章を読み取り、書かれている内容を要約することが苦手な傾向にある。

### 3 算数科 A (基礎) の傾向

#### 比較的すぐれている学習内容

- ①  $46 + 57$   $903 \times 6$  などの単純な計算は比較的出来ている。

#### 課題があると思える学習内容

- ① 比較量の求め方が(基準量) × (割合)であることが理解できていない子が多い傾向にある。実際に計算をしてみると間違いに気づくはずであるが、そういった習慣が身についていない傾向にある。
- ② 直方体の平面図が長方形になることが分からない子が多い傾向にある。
- ③ 図や文章を読み取り、題意が十分に読み取れない子が多い傾向にある。

### 4 算数 B (応用) の傾向

#### 比較的すぐれている学習内容

- ① 全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる子が多い傾向にある。

#### 課題があると思える学習内容

- ① 図や文章など示された情報を基に条件に合う答えを導き出すことができる子が少ない傾向にある。
- ② 図や文章など示された情報を整理し、筋道を立てて考えることができる子が少ない傾向にある。

### 5 児童質問紙からの課題

#### 比較的すぐれていると思える内容

- ① 「学校に行くのが楽しい」と答えた子が比較的多く、学校生活を楽しんでいると考えられる。
- ② 「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」という問いに対して「思う」と答えた子が多く、思いやりや優しさを身に付けたい傾向にあると考えられる。

#### 課題があると思える内容

- ① 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という問いに対しては、「寝ていない。あまり寝ていない」と答える子の割合が高く、夜の生活が不規則になっている子が多い傾向にあると考えられる。また、一日当たりのテレビゲーム等に費やされる時間が全国平均の 2 倍以上になっており、夜の生活が不規則になっている原因の一つではないかと考えられる。
- ② 「自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いに対しては「あまりしていない」と答える子の割合が多く、自ら進んで計画的に学習する習慣が身についていない傾向にあると考えられる。
- ③ 「算数の問題の解き方が分からない時には、あきらめずに色々な方法を考えますか」という問いに対しては、「あまり考えない」と答える子の割合が高く、粘り強さや集中して考えようとする意欲が少ない傾向にあると考えられる。

## 調査結果を受けて野崎西小学校で具体的に取組んでいくこと

### 国語科についての取組

- 1 新聞や雑誌も含め色々な本を読む機会を増やします。毎週金曜日には「紀州っ子学びノート」を活用し「うちどく」の宿題を出すことで本を読む機会を増やし、授業の中でも学年に応じて新聞や雑誌等様々な文章を取り上げ、要点をまとめたり、要約したり、文章を読んで自分の考えを書いたりする学習を取り入れます。
- 2 国語だけでなく、すべての教科で「書く活動」を大切に、「書く力」を高めます。
- 3 漢字の博士試験を継続的に実施し、漢字の力を高めます。
- 4 短作文を書く機会を多くし、作文の書き方を丁寧に指導します。
- 5 語彙や語句の力を向上させるために「ことわざ」や「慣用句」などにもふれる機会を増やします。
- 6 日頃から国語辞典や漢字辞典を使う機会を増やし、言葉の力を高めます。

### 算数科についての取組

- 1 学校で基本的な四則計算をできるように繰り返し練習したり、宿題に出したりすることで定着を図ります。
- 2 答えを導き出した後に確かめをする習慣を身に付けさせる指導を行います。
- 3 算数ノートに自分の考え方を記録し、説明ができるような時間を取ります。
- 4 資料や長い文章の問題に慣れさせるような問題を授業で使います。
- 5 できるだけ具体物や体験的な学習を多くすることで、学習意欲を育てます。
- 6 昨年度から整備された調べ学習室や新しく導入されたパソコンで ICT を活用した授業を増やします。

### 児童質問紙の課題や全般についての取組

- 1 昼学をより充実したものにし、月曜日と金曜日の放課後フォローアップタイムを設定します。

下の表のように従来から実施している「昼学」に加え、フォローアップタイムを設定し、一人一人の学力の向上を図ります。

	月	火	水	木	金
昼学の内容 13:25～13:40	国語（漢字博士）	算数	読書（5・6年） 12:55～14:10	算数	朝の運動
フォローアップタイム 放課後	14:35～14:55 1・2年生  15:25～15:45 3・4・5・6年生		西っ子タイム 3・4・5・6年生		14:35～14:55 1・2・3年生  15:25～15:45 4・5・6年生

※フォローアップタイムとは授業中に十分できなかったことを補習する時間です。

※1年生は2学期からフォローアップタイムを実施します。

※昼学は全員参加ですが、フォローアップタイムへの参加は自由参加になります。

※クラブ・委員会・学校行事等がない水曜日5限、3・4・5・6年生は「西っ子タイム」として学力向上のための時間を設定しています。

※フォローアップタイムへの参加を事前に保護者の方にお知らせをしますが、下校が普段より遅くなり、少人数での下校になることをご了承ください。

※陸上競技大会の練習や学校行事等の関係でフォローアップタイムが実施できないこともあります。

#### **過去の学力テストへの取組**

子どもたちは長い文章や資料を読み取り問題を解くことに慣れていないと考えられます。そのため過去の学力テストを算数や国語の時間取り上げ学習します。

#### **サマースクールの実施**

以前からも取組んでいますが、夏休み中に学年に応じてサマースクールを開催します。高学年の参加が少ないように思います。できるだけ多く参加をお願いします。

#### **家庭学習や基本的な生活習慣についての取組**

- 1 家庭で学習の習慣を身に付けるために「家庭学習のてびき」を作成しました。これを参考に毎日ご家庭でも机に座って宿題や自主学習をする習慣を身に付けさせてください。
- 2 早寝・早起き・朝ごはんやゲームの時間など生活のリズムと学力はたいへん関係が深いと言われています。「生活アンケート」を今まで通り実施し、一人一人に指導をし、子どもたちに基本的な生活習慣が身に付けられるようにしたいと思いますのでご協力をお願いします。  
なお「早寝・早起き・朝ごはんのスズメ」を作成したので、お子様と話し合いご活用ください。

これらの取組の完全実施は平成26年11月1日からになります。